

# PCからATコマンドで送信する



- ①PCと評価端末をUSBシリアルケーブルで接続します
- ②ターミナルソフトを立ち上げ、シリアル接続します  
※もし、COMポートとして認識しなかった場合、  
FTDIホームページからドライバをダウンロードし、  
インストールしてください  
<http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm>
- ③下記ATコマンドでデバイスからメッセージを送信します  
AT\$SS=[送信したいデータ]  
例) AT\$SS=12345678901234567890abcd



## 【デバイス認識方法】

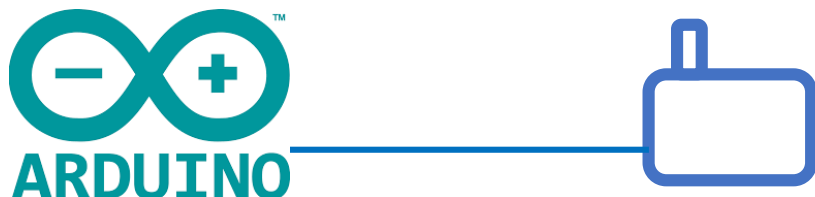
- ①評価端末がRaspberry Piに認識されているかを確認します  
\$ lsusb  
->「Future Technology Devices International,  
Ltd FT232 USB-Serial (UART) IC」が表示
- ②評価端末がどのデバイスで認識されたかを確認します  
\$ dmesg  
->「FTDI USB Serial Device converter new  
attached to ttyUSB0」  
と表示された場合は、デバイスファイルのパスは、  
「/dev/ttyUSB0」となります

## 【Pythonコード例】

- ①PySerialが入っていない場合（pip freeze確認）インストール  
\$ sudo apt-get install python-serial
- ②コードサンプル  

```
import serial
ser = serial.Serial('/dev/ttyUSB0', 9600)
ser.write('AT$SS=1234abcd¥n')
rcv = ser.readline()
print(rcv)
rcv = ser.readline()
print(rcv)
rcv = ser.readline()
print(rcv)
ser.close()
```

# ArduinoからATコマンドで送信する



## 【事前準備】

- ①Arduino IDEをインストール (version 1.8.0)  
<https://www.arduino.cc/en/main/software>
- ②USBホストシールド用のライブラリをダウンロードします  
<https://www.arduino.cc/en/Main/ArduinoUSBHostShield>  
のArduino Library章のGitHub(download)をクリック
- ③ダウンロード解凍後、フォルダ名を「USB\_Host\_Shield\_20」とし、  
[Program Files]¥[Arduino]¥[libraries]配下にコピー

## 【サンプルコード・資料の一部】

<https://github.com/RyosukeF/SIGFOX201705.git>

【20in1 センサモジュールキット サンプルコードURL】

<http://osoyoo.com/ja/2015/03/11/osoyoo-sensor-modules-kit-for-arduino/>  
<http://osoyoo.com/ja/category/raspberry-pi-diy-project/>

【ロームセンサ評価キット サンプルコードURL】

<http://deviceplus.jp/hobby/entry040/>

【Raspberry Piで温度センサー（DS18B20）から温度を取得する方法】

<https://colo-ri.jp/develop/2016/05/raspberry-pi-ds18b20.html>